

社会福祉法人白洞社事業報告

平成20年度の法人及び各施設の運営は、概ね順調に推移することができた。
本法人の特徴である、老人ホーム利用者と保育園の園児との交流は、年間を通して和やかに楽しく開催することができた。
「養護老人ホーム東光園」においては、利用者の病弱化・虚弱化の進行に伴い援助業務が増加したため、職員の増員を行い、処遇の改善を図った。
住環境の整備として、長生棟（居住棟）廊下の手摺が片側のみの設置であったため、利便性、安全性を考慮し、左右両側設置に改善した。
また、夜間入浴を実施する中で、夜間徘徊の行動をとる利用者に対する安全対策のため、洗濯室、浴室への入室が制限できるよう施錠可能なドアを新たに設置し、事故発生の防止を図った。

「東光保育園」は、「常に安全保育の実施を心がけ、健康・安全などの日常生活に必要な習慣や態度を養うとともに、子どもの情緒を安定させ、心身の調和的な発達を図り、自主・強調などの社会的な態度を養い、それぞれの子どもが十分能力を発揮できるよう手助けをする。」の保育理念のもと、国の定める「保育指針」に準拠し、年齢、発達段階、年中行事等を勘案し年間の保育を行っている。昨今、子ども達の運動能力低下、体力低下が心配されているので、日常保育中でのリトミックによる体力作りのほか、「体育教室」を開催し、健康作り、基礎体力作りにつとめている。また、理科離れも心配されているので、幼児期に“科学の楽しさ” “科学の不思議” を経験させるために「科学教室」を開催した。

保育環境設備として、3歳以上児保育室3室にエアコンを新設し、保育環境の充実を図るとともに、鉄棒、ブランコの下にクッション性のあるアンダーマットを敷設し事故時の危険性の軽減を図った。また、施設設備においては、一部屋根の防水工事を実施した。